

授業科目	地域精神保健特別演習 Community Social Welfare Policies			担当教員	高島 恭子		
展開方法	演習	単位数	2単位	開講年次・時期	1・2年／後期	必修・選択	選択
授業のねらい							
<p>「入院医療中心から地域生活中心へ」と進められてきた日本の精神保健医療福祉の改革は、「精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが安心して自分らしく暮らすことができる」地域づくりを模索している。本演習では、カリキュラムポリシーにあげられる人間尊重の精神に支えられた地域マネジメント理論の構築を目指すために、英国の Mental Health Social Work の概要と日本の地域精神保健の課題を学び、地域精神保健のあり方を検討する。</p>							
	学生の授業における到達目標				評価手段・方法		評価比率
関心・意欲 ・態度	地域精神保健に関して理解した内容を討議できる。				<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度及び参加度 ・レジュメ及びレポート 		10% 20%
思考・判断	精神障害者が地域で生活する意義と地域生活において起こりうる障壁を説明できる。				<ul style="list-style-type: none"> ・レジュメ及びレポート ・課題発表 		10% 20%
技能・表現	精神保健に関する諸概念をソーシャルワーク及び地域マネジメントの理論に应用することができる。				<ul style="list-style-type: none"> ・レジュメ及びレポート ・課題発表 		10% 10%
知識・理解	精神保健に関する諸概念を説明することができる。				<ul style="list-style-type: none"> ・レジュメ及びレポート 		20%
出席							受験要件
合計							100%
評価基準および評価手段・方法の補足説明							
<p>担当部分の概要とそれに対応する日本の取り組みについてレジュメまたはレポートにまとめ発表する。レジュメ、レポート及び発表の内容、構成、精神保健に関する諸概念の理解と説明の正確さ、深度、わかりやすさ、討議の質を総合的に評価する。</p>							
授業の概要							
<p>“Mental Health Social Work in Context”を通して英国の地域精神保健サービスとソーシャルワークの役割を学びつつ、同様の課題について日本ではどのように取り組まれているのか、受講者とともに比較検討を進める。進め方の詳細は受講者と相談の上決める。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：Nick Gould “Mental Health Social Work in Context 2nd Edition” Routledge, 2016. 参考書：日本社会精神医学会編『社会精神医学』医学書院、2009年。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>地域で行われる精神保健医療福祉関連のイベントや当事者の活動等に積極的に参加すること、情報ツールを有効に活用し地域精神保健の多様なあり方について国内外の情報を収集し、視野を広げることを期待する</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	授業の概要を説明し、スケジュールを確認する。	復習：関心を明確にし、スケジュールを確認する。
2	精神保健の視座①	施設ケアからコミュニティケアへの流れ、「精神保健」が抱える問題意識について学びを深める。	予習：p. 9-17を読む。レジュメ作成。 復習：p. 9-17の内容を確認する。
3	精神保健の視座②	近年の社会モデルについて学びを深める。	予習：p. 18-27を読む。レジュメ作成。 復習：第1章の内容を確認する。
4	精神保健の領域の拡大①	雇用とストレス、精神保健上の課題を抱える人々の貧困やその他の課題について学びを深める。	予習：p. 31-51を読む。レジュメ作成。 復習：第2章の内容を確認する。
5	精神保健の領域の拡大②	日本において、精神保健上の課題を抱える人々に起こりうる生活上の課題と対応策を考える。	予習：第2章に関連し、日本で行われている取り組みを考えまとめる。 復習：日本の取り組みを振り返る。
6	精神保健領域でのソーシャルワークの役割①	精神保健領域におけるソーシャルワークの役割と関連する議論について学びを深める。	予習：p. 55-74を読む。レジュメ作成。 復習：第3章の内容を確認する。
7	精神保健領域でのソーシャルワークの役割②	日本での、精神保健領域におけるソーシャルワークの役割について考える。	予習：第3章に関連し、日本の状況を考えレポートにまとめる。 復習：日本と英国の状況を振り返る。
8	こどもと青年期の精神保健①	行動の障害や発達障害などを含め、こどもと青年期の精神保健について学びを深める。	予習：p. 77-96を読む。レジュメ作成。 復習：第4章の内容を確認する。
9	こどもと青年期の精神保健②	日本での、こどもと青年期の精神保健とソーシャルワークの役割について考える。	予習：第4章に関連し、日本の状況を考えレポートにまとめる。 復習：日本と英国の状況を振り返る。
10	成人期の精神保健とソーシャルワーク①	気分障害や産後のうつ、パニック障害などを含め、成人期の精神保健について学びを深める。	予習：p. 99-116を読む。レジュメ作成。 復習：第5章の内容を確認する
11	成人期の精神保健とソーシャルワーク②	精神疾患やパーソナリティ障害などを含め、成人期の精神保健について学びを深める。	予習:p. 119-138を読む。レジュメ作成。 復習：第6章の内容を確認する。
12	成人期の精神保健とソーシャルワーク③	日本での、成人期の精神保健とソーシャルワークの役割について考える。	予習：第5、6章に関連し、日本の状況を考えレポートにまとめる。 復習：日本と英国の状況を振り返る。
13	高齢期の精神保健とソーシャルワーク	認知症とその対応を含め、高齢期の精神保健について学びを深める。	予習:p. 141-155を読む。レジュメ作成。 復習：第7章の内容を確認する。
14	リスクマネジメント	精神保健分野におけるリスクマネジメントとソーシャルワークの役割を考える。	予習:p. 159-177を読む。レジュメ作成。 復習：第8章の内容を確認する。
15	地域精神保健とソーシャルワーク	全体を振り返り、精神保健とソーシャルワークの役割、地域づくりを考える。	予習:p. 181-195を読む。レジュメ作成。 復習：授業全体を振り返る。